

メディカルダイエット（自費マンジャロ治療）について

はじめに

マンジャロは美容・痩身・ダイエット等を目的とした使用は承認されていないため、重大なリスクが明らかになっていない可能性があります。同一成分の注射製剤であるゼップバウンドが厚生労働省より肥満症治療薬として承認されています。

この注射薬の一つの特徴としては、空腹感のつらさを感じにくくなることが多くなり、食べ過ぎを防いでくれることが期待できます。

体重を減らすには

注射を打つだけで体重は減りません。

体重は（摂取カロリー）－（消費カロリー）によって決まります。

体重を減らすには消費カロリーを増やすことと、摂取カロリーを減らすことが重要になります。メディカルダイエットはこの摂取カロリーを減らすために役立つ方法です。

マンジャロで、空腹感のつらさを減らし食べ過ぎを防ぎ、
タンパク質摂取＋運動負荷にてバランスのとれた体型になる！

これがメディカルダイエットの目指すところです。

受診の流れ

初回の受診（来院を基本とします）

身体測定・血液検査（＊）を行い、目標体重を設定します。自由診療の説明書と同意書をお渡しします。

初回の費用は「初診料（2,200 円）＋血液検査料金（3,300 円）＋薬剤料」となります。

※健康診断や他院の採血などで、6 か月以内の血液検査の結果をお持ちの方はご持参ください。なければ当院で採血をさせていただきます。（薬使用により副作用が出ていないかどうかを判断するための注射薬使用前採血です。その後はこのデータと比較して副作用が出ていないかどうかを判断します。）当院での採血の場合は採血料として 3,300 円いただきます。

初回のマンジャロの用量は 2.5mg となるため、4 週間分の 4 本を処方します。（お試して始めたいときは初回のみ 2 本処方可です）

マンジャロ注射の打ち方について指導を行います。

※すでに他院でマンジャロを開始されている場合では初回からマンジャロ 5.0mg 以上の処方ができることがあります。マンジャロ使用が分かる書類等をご持参ください。

2 回目の受診（来院を基本とします）

体重減少の効果や、胃腸の状態を確認しながら 5mg（維持用量）へ増量するか 2.5mg のままで継続するかを検討します。

また副作用が出ていないかを血液検査で判定します。近日中に血液検査の予定があるなどの場合は省略可能です。当院での血液検査の場合、費用は 3,300 円となります。

3 回目以降の受診（オンライン診察が可能です）

オンライン診察での処方も可能です。対面診察時とオンライン診察時では、診察に要する諸経費の兼ね合いから、異なる価格設定となっております。詳細は「費用一覧」をご確認ください。

処方可能日数について

初回は 4 本（4 週間分）となります。

お試しで始めたい方は初回のみ 2 本（2 週間分）の処方も可能です。ただしその場合、2 回目の処方は 2.5mg を 2 本あるいは 4 本とさせていただきます。（5mg への増量には一旦診察での相談が必要となります。）

2 回目以降の診療では、4 週間分以上 8 週間分までの処方が可能です。

自費診療ではありますが、診察なしで薬だけの処方は出来ません。

オンライン診察について

初回および 2 回目は対面での診察とさせていただきます。

3 回目以降はオンラインでの診察も可能とさせていただきます。オンライン診察時の処方薬は、当院の診療時間内に直接取りに来ていただくかクール便での配送となります。配送の場合は別途 1,650 円必要となり、翌診療日に発送となるため、到着までに数日要することになります。

当院でメディカルダイエットを受けていただくメリット

メディカルダイエットの一つの問題点は、食事量が減ることにより筋肉量が減ってしまうことが挙げられます。

当院では inbody という医療機器認定を受けた高機能な体組成計を設置しております。

通常 1 回あたり 500 円の費用負担が発生しますが、注射治療中は月に 1 回無料で体組成を測定させていただきます。



マンジャロ治療におけるリスクと副作用について

マンジャロは高い臨床効果が期待できる反面、医薬品であるため以下のような副作用やリスクを生じる可能性があります。当院では、安全に治療を継続していただくために定期的な血液検査等を実施しております。

- **主な副作用：** 吐き気、嘔吐、下痢、便秘、腹痛、食欲不振、胃部不快感などの胃腸障害（※多くは投与初期に見られ、体が慣れるにつれて軽快することが一般的です）
- **重大なリスク：** 低血糖、急性膵炎（激しい腹痛や背中痛み）、胆嚢炎、重度の過敏症（アナフィラキシー）
- **救済制度について：** 本治療は国内承認薬の適応外使用（自由診療）に該当するため、万が一重篤な副作用が発生した場合でも、「医薬品副作用被害救済制度」の対象外となる場合があります。

※治療中に気になる症状や強い体調不良を感じた場合は、自己判断で投与を続けず、必ず速やかに当院までご相談ください。

返品・交換について

医薬品の特性上、いかなる理由があっても返品交換はお受けできません。初期不良が疑われる場合の判定・保証については製造販売元の指示に基づいて対応させていただきます。

保管期限および廃棄のルールについて

来院での受け取り、あるいは配送の場合に受け取り拒否で返送された場合、ともに当院での保管は、診察後 4 週間を限度とさせていただきます。

4 週ンを過ぎて受け取りのない場合は、本注射薬を廃棄することに同意したとみなし、廃棄処分とさせていただきます。年末年始やゴールデンウィーク、シルバーウィークなど連休となる場合でも延長は出来ませんのでご注意ください。